

令和5年度 沖縄群島 病害虫発生予報 第9号 (12月予報)

○向こう1か月の天候の見通し (令和5年11月23日発表：沖縄気象台)

平均気温	降水量	日照時間
ほぼ平年並	少ない	ほぼ平年並

○12月の発生予報 (沖縄群島)

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		11月の発生量 (平年比)	11月からの 増減	12月の発生量 (平年比)	
さとらきび	① メイチュウ類 (カンシャシ ンクイハマキ・イネヨト ウ) (夏植え)	並	↗	並	平年の発生量の推移 (↗)
(温州みかん)	① ハダニ類	やや少	→	並	平年の発生量の推移 (→)
マンガ	① ハダニ類	並	↘	並	平年の発生量の推移 (↘)
キャベツ	① コナガ	多	→	多	例年の発生量の推移 (→)
	② チョウ目幼虫	やや多	↘	多	平年の発生量の推移 (↘)
レタス	① アブラムシ類	並	→	並	例年の発生量の推移 (→)
	② アザミウマ類	やや多	↗	やや多	例年の発生量の推移 (↗)
	③ ハスモンヨトウ	やや多	→	やや多	例年の発生量の推移 (→)
(施設ウリ)	① 斑点病	並	↗	並	平年の発生量の推移 (↗)
	② タバココナジラミ	並	↘	並	平年の発生量の推移 (↘)

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

●平年値：過去5～10年間の発生量の平均値

●例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※(発生なし)は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量(現況)と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○12月の発生予報つづき（沖縄群島）

作物	病害虫名		調査結果	予報		予報の根拠
			11月の発生量 (平年比)	11月からの 増減	12月の発生量 (平年比)	
ピーマン（施設）	①	ミナミキイロアザミウマ	やや多	↓	やや多	平年の発生量の推移（↓）
	②	ヒラズハナアザミウマ	並	↓	並	平年の発生量の推移（↓）
	③	タバココナジラミ	やや多	→	やや多	平年の発生量の推移（→）
（施設）トマト	①	黄化葉巻病	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	②	タバココナジラミ	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
さい（平張）げん	①	ミナミキイロアザミウマ	並	↑	並	平年の発生量の推移（↑）
	②	ハモグリバエ類	並	↓	並	平年の発生量の推移（↓）

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（沖縄群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
（温州みかん）	カイガラムシ類	一部のほ場でカイガラムシ類の発生が見られた。冬季はマシン油乳剤による防除が効果的であり、かつ天敵を保護することが期待できる。
マンガ	炭疽病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは感染源となるので、施設外へ持ち出し処分する。
	カイガラムシ類	一部施設でコナカイガラムシ類の発生がみられた。 甘露を排泄するカイガラムシ類は樹上のアリ類を探することで発見しやすくなる。 カイガラムシ類は、一般的に成虫の薬剤感受性が低いことから、幼虫に対して薬剤防除を行う。
（施設）ピーマン	チャノホコリダニ	一部施設で発生がみられた。 25℃での卵から成虫までの発育期間は8～11日と短く、短期間のうちに高密度になりやすいため、早期発見・防除に努める。また、薬剤が到達しにくい生長点付近や未展開葉に潜っているため、薬散は丁寧に行う。
小ギク	Gibellulopsis chrysanthemiによる新病害	昨年発生（年末用小ギク）の新病害である。本病は葉にえそ斑紋のような症状を呈し、症状が進行すると下葉が枯れ上がり商品価値を著しく低下させる。今月の調査での発生ほ場率は25.0%であった。防除対策としては健全苗を植え付ける。かん水の時に土が跳ね上がらないように注意する。罹病葉は伝染源となるので速やかに除去し、ほ場外で適切に処分する。

令和5年度 宮古群島 病害虫発生予報 第9号 (12月予報)

○向こう1か月の天候の見通し (令和5年11月23日発表：沖縄气象台)

平均気温	降水量	日照時間
ほぼ平年並	少ない	ほぼ平年並

○12月の発生予報 (宮古群島)

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		11月の発生量 (平年比)	11月からの 増減	12月の発生量 (平年比)	
さとらきび	① メイチュウ類 (カンシャシ ンクイハマキ・イネヨト ウ) (夏植え)	並	↗	並	平年の発生量の推移 (↗)
					平年の発生量の推移 (→)
マンガー	① ハダニ類	(発生なし)並	→	並	平年の発生量の推移 (→)
へんせり	① うどんこ病	並	↗	並	平年の発生量の推移 (↗)
	② 斑点病	多	→	並	平年の発生量の推移 (→)

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※(発生なし)は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量(現況)と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫 (宮古群島)

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
マンガー	炭疽病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは感染源となるので、施設外へ持ち出し処分する。
	カイガラムシ類	一部施設でコナカイガラムシ類の発生がみられた。 甘露を排泄するカイガラムシ類は樹上のアリ類を探することで発見しやすくなる。 カイガラムシ類は、一般的に成虫の薬剤感受性が低いことから、幼虫に対して薬剤防除を行う。

令和5年度 八重山群島 病害虫発生予報 第9号 (12月予報)

○向こう1か月の天候の見通し (令和5年11月23日発表：沖縄気象台)

平均気温	降水量	日照時間
ほぼ平年並	少ない	ほぼ平年並

○12月の発生予報 (八重山群島)

作物	病害虫名		調査結果	予報		予報の根拠
			11月の発生量 (平年比)	11月からの 増減	12月の発生量 (平年比)	
さとらきび	①	メイチュウ類 (カンシャシンクイハマキ・イネヨトウ) (夏植え)	並	↗	並	平年の発生量の推移 (↗)
マンゴー	①	ハダニ類	並	↘	並	平年の発生量の推移 (↘)
かぼちゃ	①	ハモグリバエ類	並	↗	並	平年の発生量の推移 (↗)
施設ウリ	①	アブラムシ類	やや多	↗	並	平年の発生量の推移 (↗)

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※(発生なし)は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量(現況)と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫 (八重山群島)

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
マンゴー	炭疽病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは感染源となるので、施設外へ持ち出し処分する。
	カイガラムシ類	甘露を排泄するカイガラムシ類は樹上のアリ類を探すことで発見しやすくなる。 カイガラムシ類は、一般的に成虫の薬剤感受性が低いことから、幼虫に対して薬剤防除を行う。

向こう1か月の天候の見通し
沖縄地方（11/25～12/24）

予報のポイント

- 期間の前半は、寒気の影響を受けやすいですが、後半は寒気の影響を受けにくいいため、向こう1か月の気温は、ほぼ平年並となるでしょう。
- 低気圧や前線の影響を受けにくいため、向こう1か月の降水量は少ない見込みです。

1か月の平均気温・降水量・日照時間

	平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
沖縄地方	低30 並40 高30% ほぼ平年並の見込み	少50 並30 多20% 少ない見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
数値は予想される出現確率（%）です			

数値予報モデルによる予測結果

1か月平均の地上気圧（左図）は、大陸から高気圧が張り出し、九州付近を中心に高気圧に覆われやすい見込みです。

上空約1500mの気温（右図）は、中国大陸では平年より高いと予測されていますが、沖縄付近では平年からの隔たりは小さく、寒気の影響を受ける時期もあるでしょう。

季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のパラッキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

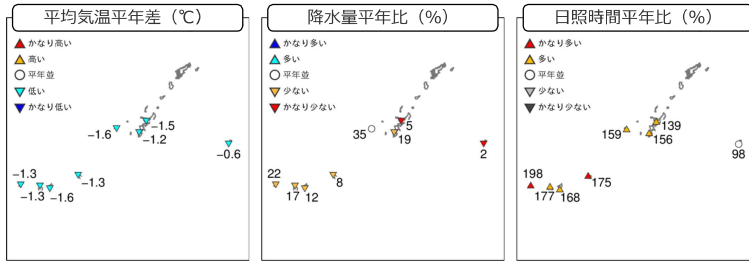
週別の平均気温と天候

	平均気温（1週目） 11/25～12/01	平均気温（2週目） 12/02～12/08	平均気温（3～4週目） 12/09～12/22
週別の天候	高気圧に覆われて晴れる所もありますが、気圧の谷や寒気の影響を受けやすいため、雲が広がりやすい所もあるでしょう。	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
沖縄地方	低40 並40 高20% 平年並か低い見込み	低40 並40 高20% 平年並か低い見込み	低20 並30 高50% 高い見込み
数値は予想される出現確率（%）です			

明日から1週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報 (<https://www.jma.go.jp/bosai/forecast/>) を参照してください。

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、参考資料 (<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/okinawa1.html>) をご覧ください。文章による解説については、確率の大きさに応じた言葉で表現しています。詳しくは本資料末尾の「参考（確率予報の解説）」をご覧ください。

最近1週間の天候経過



(実況) 11/16~11/22	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
沖縄地方	-1.4℃ (低い)	17% (かなり少ない)	167% (かなり多い)

参考

確率予報の解説 (ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています)

出現確率 (低い (少ない) : 平年並 : 高い (多い))	解説
高い (多い) 確率が50%以上	高い (多い) 見込み
(20 : 40 : 40)	平年並か高い (多い) 見込み
平年並の確率が50%以上	平年並の見込み
(40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	ほぼ平年並の見込み
(40 : 40 : 20)	平年並か低い (少ない) 見込み
低い (少ない) 確率が50%以上	低い (少ない) 見込み

気温・降水量・日照時間等の平年値につきましては、次のページをご覧ください。
<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/okinawa1.html>



天気日数 (晴れ日数及び降水日数) の平年値につきましては、次のページをご覧ください。
<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/tenkinissuu/tenkinissuu.html>

